

IR（統合型リゾート）施設誘致の検討について（現況）

1 新型コロナウイルス感染症のIRへの影響

○日本への参入を狙う海外のIR事業者の業績が悪化。新型コロナウイルスの感染予防で海外のカジノも閉鎖に追い込まれ、再開後も客足が遠のいている。

<日本参入に意欲を示す主な事業者の20年1~3月期売上高の前年同期比増減率>

- | | |
|-----------------------------|------|
| ・MGMリゾート・インターナショナル（米国） | ▲29% |
| ・ギャラクシー・エンターテインメント・グループ（香港） | ▲61% |
| ・ゲンティン・シンガポール（シンガポール） | ▲36% |

2 政府の基本方針の決定時期

○政府関係者は基本方針の決定時期に関して、次のように発言したとされている。

- ・基本方針の策定時期は「白紙」
- ・新型コロナウイルス対策などを盛り込む必要が生じたことなどから慎重に作業を進めており、公表時期は「未定」 など

○現状、区域整備計画の認定申請の受付期間2021年1月から7月に変更はないが、一部報道では、期間延期を検討しているとのこと。

3 他都市の状況（主なもの）

横浜市

○6月に予定した実施方針、募集要項などの公表を2か月延期。

○進出に意欲を示した米ラスベガス・サンズは「撤退」（5/13）。

「日本におけるIR開発の枠組みでは、私たちの目標達成は困難」

大阪府・市

○「大阪IRの全面開業が1~2年遅れる見通し」

○2020年7月頃としている提案審査書類の提出期限を当面の間延長。

○具体的な提出期限は、国の基本方針の策定後に、その内容及び新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、決定。

○MGM・オリックスコンソーシアム（MGMリゾート・インターナショナル/オリックス株式会社）の1社が参加資格を取得。

長崎県

○7月中に予定していたIR事業者の公募開始を延期する方針を固めた。

○「国の動向を見守り、今後の公募開始時期を判断していきたい」